

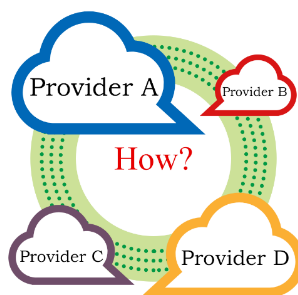


CTC 次世代IT基盤サミット 2017

サーバ・ストレージ・クラウドのいまとこれからを知り、次の一手を考える

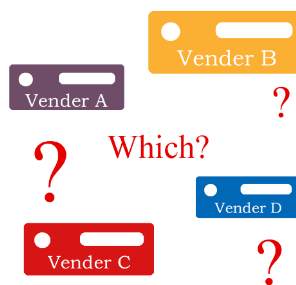


旬のITを正しく見極めて
次期IT基盤の選定に役立てる
ハイパーコンバインドインフラ/フラッシュストレージ



クラウド基盤の理解を深めて
適材適所の勘どころを掴む
海外系クラウド基盤/国内系クラウド基盤

最新IT動向と考え方を把握して
システムロードマップを策定する
AI/Hadoop/SDN/OpenStack



2017年7月13日(木)

13:30 ~ 17:35 (受付開始13:00)

東京ミッドタウン Hall A

入場無料 (事前登録制) 定員200名



申込URL

https://www.business-on-it.com/event/ctc-summit_170713/

[主催] 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

[お問い合わせ] ITサービスグループ 企画統括部 CTC次世代IT基盤サミット2017事務局
ctc-summit-1@ctc-g.co.jp 03-6420-4890



プログラム

開会挨拶

13:30~13:40

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 執行役員 藤岡 良樹

オープニングセッション

13:40~14:20

ビジネス成長に貢献する次世代IT基盤のあり方

デジタル化が進み、先進技術が浸透するなかで、企業ITに対する要求も高度化する傾向にあります。こうしたなか、企業に求められる次世代のビジネスプラットフォームとそれを支えるIT基盤とは、どのようなものでしょうか。本セッションでは、クラウド環境の動向紹介を交えて、ビジネス成長に貢献するIT基盤の将来像について述べてまいります。

株式会社アイ・ティ・アール 取締役/リサーチ統括ディレクター/プリンシパル・アナリスト 金谷 敏尊 氏

1-A

サーバ・ストレージ・ネットワーク

満席

1-B

データ活用基盤

14:30~15:10

Session 1

なるほど！ハイパーコンバード ～最新動向を把握して製品選定力を上げる～

次世代の仮想化IT基盤としてSoftware Defined Storage技術を活用したハイパーコンバード製品が市場の注目を集め、導入が急速に進んでいます。「何故ハイパーコンバード製品が必要とされるのか」「ハイパーコンバード製品にはどのような特徴があるのか」「選定時にチェックすべきポイントとは」を豊富な実績があるマルチベンダーのCTCならではの視点でスペシャリストが解説します。

ITインフラビジネス推進第2部 エキスパートエンジニア 水上 貴博

ビッグデータ活用求められる統合データ分析基盤のアーキテクチャ

～コストと性能のバランスを保ちつつ大量データを維持・管理・活用するための仕組み～
AI、IoTの時代にはデータに対するガバナンスを効かせつつ、日々膨大なデータを収集し、蓄積、加工、分析することが求められます。また、データの分析領域の拡大や分析サイクルの短縮により、従来使われてきたデータ分析基盤の仕組みだけでは、新たなトレンドに追従できない状況が発生しています。これらの課題について統合データ分析基盤のアーキテクチャの観点から、より高度な業務のニーズに応えるための方策についてお伝えします。

ITプラットフォームビジネス推進第2部 エキスパートエンジニア 後藤 真人

2-A

サーバ・ストレージ・ネットワーク

満席

2-B

サーバ・ストレージ・ネットワーク

15:15~15:55

Session 2

オールフラッシュストレージの「現在」と選定の「コツ」

近年、お客様内でオールフラッシュストレージの検討、導入が進んでいます。フラッシュを第一の選択肢と考える「フラッシュ・ファースト」の様相を呈している一方で、導入コストが高いのではないかと、また、データが壊れるのではないかとのご意見をお伺いすることも少なくありません。本セッションでは「フラッシュストレージ」に関する一般的な誤解を解説すると共に、導入を検討していく上での選定ポイントをご紹介します。

ITインフラビジネス推進第2部 主任 福井 康平

複雑化するセキュリティ・ネットワークの課題をシンプルに解決

～多様化する脅威に迅速に対応するための次世代セキュリティ・ネットワークアーキテクチャ～
複雑化するIT基盤に対して、最適なセキュリティ対策を行う事が困難といった状況があり、不正アクセス・情報漏洩などといったセキュリティ事故の発生が後を絶ちません。

本セッションでは、そういった課題に直面しているIT基盤に対して、SDNを活用した解決方法をご紹介します。

ITインフラビジネス推進第1部 高木 慎太郎

満席

3-A

クラウド基盤

満席

3-B

ビジネスIT基盤

16:10~16:50

Session 3

自社にあったクラウド基盤を選べますか？

～クラウド基盤への理解を深めて適材適所の勘どころを掴む～
Amazon AWS、Microsoft Azure、国内IaaSなど、選択肢が増えたのはいいですが、検討開始するとどれがよいか見極めが困難です。AWS、Azureの販売パートナーであり、加えてオリジナルIaaSを運営するCTCならではの視点でクラウド選びに役立つノウハウをお伝えします。

クラウドサービス企画開発部 部長 森 正史

人工知能を活用した新たな挑戦

～ReNom/NVIDIAで目指す次世代AI基盤～
Deep Learningの登場によりAIをビジネスに活用する動きが拡大しています。AIの活用促進には、様々なアルゴリズムを簡単に利用できるフレームワークが必要となり、将来的にはリアルタイム分析などに対応できるAI基盤が求められます。本セッションでは、AIビジネス範囲を一層広げるための「AI開発フレームワーク」と「次世代AI基盤」について紹介します。

ITインフラビジネス推進第2部 課長 小野 友和
AI技術推進課 エキスパートエンジニア 寺澤 豊

満席

4-A

クラウド基盤

4-B

ビジネスIT基盤

16:55~17:35

Session 4

基幹系システムのクラウド化 本格検討する際に抑えておくべきポイント

～非機能要件からバックアップや災害対策 (DR) の実装方法まで～
すでに欧米では大企業も本番環境含めたクラウド移行が進んでおり、Enterprise-Class-Cloudの市場が形成されています。国内企業でも他社に先行して基幹システムのクラウド移行に取り組む企業は増えつつあります。基幹系システムのクラウド化を本格検討する際によく議論される非機能要件からバックアップや災害対策 (DR) の実装方法まで、より実践的な内容を判りやすく解説します。

クラウドサービス企画開発部 部長代行 神原 宏行

デジタルビジネスを加速するクラウド基盤活用の本質

～Enterprise DevOps Transformation～
既存システムのクラウドイネーブルメントが日々増加している一方で、新規システムやサービス基盤としてのクラウド活用を前提とした検討が加速しています。クラウドを活用する事で実現するクラウドネイティブ化に必要な「本質的理解」と共に、検討を進める為に必要となるプロセスをご紹介します。

クラウドインテグレーション部 部長 小岩井 裕

17:45~19:00

懇親会

提供：ネットアップ株式会社

※プログラム内容・タイムスケジュールは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

申込URL

https://www.business-on-it.com/event/ctc-summit_170713/

[お問い合わせ] 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 ITサービスグループ 企画統括部
CTC次世代IT基盤サミット2017事務局
ctc-summit-1@ctc-g.co.jp 03-6420-4890

